

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市淡川町三丁目5番地7
 (淡川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878

古刹「雁田の薬師さん」 「浄光寺」

信州 栗と北斎と花のまち
おびせ

室町時代初期の代表的建築物で国の重要文化財に指定されている。薬師如来坐像、十三神將、薬師堂壁画、金銅仏など多くの文化財が収められている。地方に行くと、こんなところにこんなものが、それが国宝とか重要文化財とか、入里はなれぬ山の中に特に、長野県山梨県をまたいで山が深いために本宮に用がたるといってゆかない傾向がある。またその中から、これほど思いがけない発見をする。これが旅の面白みののだ。



写真を見て分かる様に手帳がゆきどしとたかきさんとは思えない。高橋君は、この本殿送迎の、少し階段も登って行こうは無理である。おどろきの為には、出陣のときに参拝して返ることが、地元の人にとっては百歩はななすもつてある。こは松でも敷かれた階段である。平日午後3時か登りなされた。



▲ 浄光寺の本堂が、ちびと不安。



一茶と蛙合戦の地。俳人小林一茶(1763-1827)は、文化13年(1800)に当地を訪れ合戦を見せさせ、蛙まけるな一茶、これにあんと詠じて、病弱を初見、夫人への最後の句であるが、その願いもなしく、本寺には、この句を掲げて他界した。



▼ このお茶の石の階段、水では歩けない。人によっては、これがいひのと。

八方睨み鳳凰図
北斎晩年の傑作
菅洞宗梅洞山「岩松院」天井絵
北斎、正則、一茶ゆかりの古寺
本堂の大層天井絵、萬新北斎(1764-1825)の晩年の作品、朱、鉛丹、石黄、緑、青、花青、靑、藍、藍石の顔料を膠水で溶いた絵具で、彩色された周囲は胡粉で下に白土を塗り重ね、金箔の砂子が舞かれています。画面には終末の跡など制作時の痕跡が残っており、福島正則の重廟、戦国武将豊臣秀吉を重臣として、賤岳の戦い、一木橋の築いと称され、また關原の合戦でも、勇名をせよ、島成の大大名は、一茶の、幕府の謀略にまき元和5年(1660)秋との信憑地方に、因襲させられた。